

早稲田大学各務記念材料技術研究所(材研)

2007 年度教育プログラム

主 催: 早稲田大学各務記念材料技術研究所

協 賛: 早稲田大学 COE「多元要素からなる自己組織系の物理」

教育基礎講座

「強相関電子材料開発の新展開」・連続講座

遷移金属酸化物を中心とした、電子間のクーロン相互作用が重要な役割を果たす「強相関電子材料」は、これまでも磁性体を中心として数多くの材料が研究されてきました。しかし、近年の強相関電子材料の研究は、磁気伝導、超伝導、RRAM、マルチフェロイクといった新しい性質を追求するものが主流となっています。本講座では、こうした強相関電子材料について世界的に活躍しておられる研究者をお招きして、具体的な材料の作製法に始まり、評価、物性まで全般にわたって講義していただきます。強相関電子材料を研究する大学院生、研究者、さらに将来の応用を見据えた研究をお考えの企業の技術者の方々にとっても有益なものと思われます。多数の参加を期待しております。

1. 開講期間 : 2007 年 11 月 2 日(金) 9 日(金) 計2回
2. 開講時間 : 13:00~17:30
3. 会 場 : 早稲田大学各務記念材料技術研究所 講演室 (材料技術研究所キャンパス 42-1 号館1 階)
4. プログラム

| 月 日 | 講 座 題 目 | 講 師 |
|------|---|--|
| 11/2 | 遷移金属酸化物の抵抗スイッチング現象とそのメモリ 応用 電場で絶縁体を金属に変える~電界効果ドーピングの 最前線 Mn 酸化物薄膜の相転移 | 澤 彰仁 (産業技術総合研究所主任研究員) 井上 公 (産業技術総合研究所主任研究員) 荻本 泰史 (富士電機アドバンステクノロジー 主任研究員) |
| 11/9 | 単結晶で解明かす高温超伝導銅酸化物の神秘的な物性 逆ペロフスカイト型マンガン窒化物の巨大負膨張 マルチフェロイクス材料 | 笹川 崇男 (東工大応セラ研准教授) 竹中 康司 (名大工准教授) 木村 剛 (阪大基礎工教授) |

5. 対象とする受講生 : 大学・企業などの研究者・技術者を優先させていただきます。
6. 定 員 : 50名 (先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)
7. 受 講 料 : 一般 5,000円、学生, ポスドク, 助教 無料
8. 申 込 手 続 : FAXまたはハガキで裏面要領にて下記宛お申し込みください。
9. 申 込 先 : 早稲田大学各務記念材料技術研究所 教育プログラム係
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-8-2 6
TEL 03-3203-4782 FAX 03-5286-3771 or 03-3205-1353
10. 申込締切日 : 10月31日 (水)

申込用紙

早稲田大学材料技術研究所 教育プログラム係 行き
(FAX : 03-5286-3771 or 03-3205-1353)

(カ ナ)

受講申込者氏名 _____

(所属機関・部署名) _____

(所属機関住所) 〒 _____

(tel 番号) _____ (fax 番号) _____

(E-mail) _____

(所属の学会・協会) _____



会場